

## 近畿支部日帰りバス旅行

### 《《《《 現地ガイドさんと巡る丹波篠山 》》》》

2023年11月14日（火）、近畿支部として4年ぶりとなるバス旅行に出かけました。前日は雨、当日朝は今季一番の冷え込みで心配しましたが、素晴らしい秋晴れに恵まれ、丹波篠山に着くころにはすっかり暖かくなりました。

参加者は36名、最高齢の89歳を筆頭に5名が85歳以上、18名が80歳以上という平均年齢78歳の高齢者軍団で、「ゆっくり・のんびり」がモットーのバス旅行です。

大阪の西梅田を9時に出発し、経由地の神戸で3名乗車して全員が揃ったところで自己紹介し合い、一路丹波篠山へ。到着後まずは、かつての武家屋



《武家屋敷門前にて》

敷の面影をよく残す「安間家史料館」を訪れました。現地ガイドさんがとても分かりやすく説明してくれます。次に訪ねたのは、篠山藩主青山家の明治時代の別邸であった「青山歴史村」と「丹波篠山デカンショ館」。「デカンショ館」は丹波篠山の歴史と文化を歌詞に載せて歌った「デカンショ節」をはじめ、日本遺産のまち丹波篠山の魅力をたっぷりと伝えています。

午後一時近くになり、見学でお腹も空いてきたところで「ささやま玉水」での昼食です。皆さん、「三大ブランド牛（神戸牛・三田牛・丹波牛）食べ比べ御膳」に舌鼓。併せて、久しぶりの再会を懐かしみつつ親睦を図りました。最後に、藤田代表幹事が挨拶を行うと共に、恒例のご長寿お祝い対象の方に記念品をお贈りしました。

午後は「歴史美術館」を訪問。ここはわが国最古級の木造建築の裁判所を利用した美術館で、旧法廷を当時の姿で残した「旧法廷展示場」には「法服」や「法冠」が用意されており、参加者が法服・法冠を着用してにわか裁判官を演じたりしていました（笑）。



《旧法廷展示場にて》

続いては近くの「特産館ささやま」での買い物タイムです。栗・黒豆・黒枝豆とその関連商品や丹波焼(陶器)など、皆さんいっぱい土産物を手にバスに乗り込みました。

帰路はまた途中下車される参加者のため神戸経由で西梅田へ。神戸到着前に永尾幹事からお礼の挨拶と共に、(了解を得て)声量豊かに「デカンショ節」を歌い、拍手喝采を浴びました。多少の渋滞はあったものの、ほぼ予定通りに西梅田に無事到着できました。皆さん、大変お疲れさまでした。